

VOLUNTEER

2025

佛教大学社会連携センター学生ボランティア室の機関誌

スタッフ
募集中！



「ボランティアなんて」と言っていた学生も今ではスタッフに！



ボラ室の魅力がすべて分かる！

M

a
t

i
r

i

Vol. 64

ガクチカ、友達づくり、社会貢献・・・
きっかけは何でもOK！

マイトゥリーとは、古代インドの言語で「最高の友情」という意味です。

- ▶そもそも「ボランティア」ってなに？
- ▶学生ボランティア室に行ってみよう！
- ▶学生スタッフ紹介
- ▶ボラ室活動報告
- ▶Real Voice～ボランティア体験談～



そもそも…

What is Volunteer?

ボランティアってなに？

ボランティアとは、「自発的な意志に基づいて他人や社会に貢献すること」。

まずは、ボランティアの4原則をチェック！

自分の意志で

自発性

対価を求めず

無償性

自由な発想で

創造性

誰かの支えになる

社会性

アルバイトでもない、公的支援でもない、
ボランティアだからこそ叶う

いいところ3選



支援の対象を自分で決めることができる

どんな人をどんな方法で支援するか、すべて自分次第。
「全体の奉仕者」である行政と異なりボランティアだから選べる！



「無償」だからこそ友人・仲間ができる

ボランティアには「偶然の出会い」が常にあります。
幅広い世代のあらゆる立場の方とのご縁ができる場面がたくさん！



「内発的な意欲」からくる有能感や達成感がある

金銭などの報酬によらない「内発的な意欲」は、より成長を実感させるものでもあります。ただし、交通費などの手当てが出る場合も！

「ボランティア」への心構えがつかめたら、

自分がやってみたいボランティア、自分に合うボランティアを探してみよう！



どんな
ボランティアが
あるんだろう？

分野

- ・子ども、教育
- ・災害支援
- ・高齢者福祉、障がい
- ・国際、文化交流
- ・まちづくり
- ・環境、自然保護 etc.

ボランティアの分野は多岐に渡ります！
ぜひ、チャレンジしてみてください！

佛大でボランティア情報を入手したい！と思ったら…

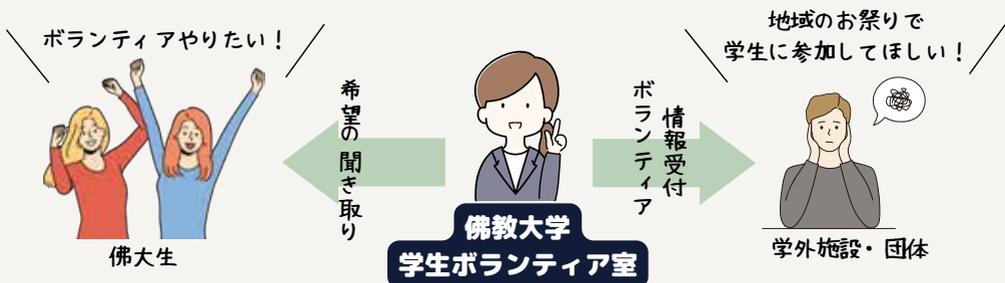
NEXT

What is Volunteer Room like?

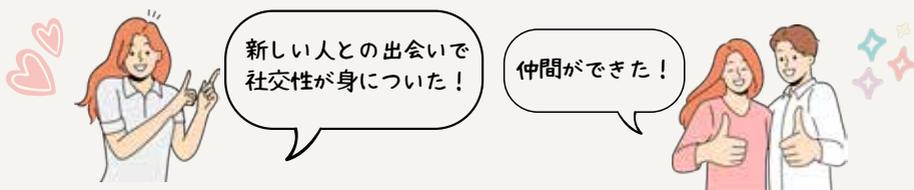
学生ボランティア室に行ってみよう！

学生ボランティア室の3つの役割をご紹介します！

01 ボランティアを必要とする施設・団体と学生を繋ぐお手伝いをしています。



02 ボランティアから得られる経験ややりがい、人と繋がる素晴らしさを伝えています。



03 自分たちでもボランティアの企画をしています。



元々ボランティアに興味があった、ガクチカを作りたい、友達をつくりたい、企画力をつけたい・・・など、スタッフになるきっかけは人それぞれ。少しでも気になったら、ボラ室に来てください！



個性が輝くボラ室の主役！座右の銘を聞いてみました！

学生スタッフ紹介

一期一会



代表

現代社会学科 4年

重森 柗太

SHIGEMORI Shuta

万里一空



代表

現代社会学科 3年

上田 知佳

UEDA Chika

OUR PROFILE

人生に
失敗はつきもの



公共政策学科 4年
勝山 杏珠
KATSUYAMA Anju

向き不向き
よりも前向き



公共政策学科 4年
大石 敬太
OISHI Keita

日新月异
1歩ずつ!



公共政策学科 4年
荒川 慶太
ARAKAWA Keita

艱難汝を玉にす



歴史文化学科 4年
荒堀 七音
ARAHORI Kazune

試行錯誤
を重ねる



現代社会学科 3年
宇野 晴登
UNO Haruto

不言実行



歴史学科 3年
濱頭 蒼依
HAMAGASHIRA Aoi

初志貫徹



臨床心理学科 3年
三浦 瑚夏
MIURA Konatsu

継続は
力なり!



公共政策学科 3年
小崎 理一朗
KOZAKI Riichiro

一笑懸命



現代社会学科 3年
上田 真由奈
UEDA Mayuna

毎日を
楽しむ!



公共政策学科 3年
竹内 琉晟
TAKEUCHI Ryusei

行雲流水



臨床心理学科 3年
川浪 真利菜
KAWANAMI Marina

温故知新



歴史学科 3年
加納 なつみ
KANOU Natsumi

温厚篤実



社会福祉学科 3年
木野 桃花
KINO Momoka

笑えたら
良い!!



中国学科 3年
佐藤 朱華
SATO Ayaka

有言実行



臨床心理学科 3年
山本 愛莉
YAMAMOTO Airi

何事にもあきらめな
い心を持つ?



臨床心理学科 2年
上木 悠貴乃
UEKI Yukino

自分の道は
自分の手でひらく



公共政策学科 2年
安藤 凜
ANDO Rin

一番の近道は遠回り
遠回りこそが最短の道



臨床心理学科 2年
中村 碧杏
NAKAMURA Aoi

自分らしく
生き続ける



公共政策学科 2年
西影 侑朔
NISHIKAGE Yusaku

ためらわずに
挑戦



公共政策学科 2年
中西 遥愛
NAKANISHI Noa

迷いはやる気の証拠



公共政策学科 2年
西川 碧
NISHIKAWA Aoi

豊かな人生にする!



臨床心理学科 2年
杉山 百花
SUGIYAMA Momoka



佛教大学
ぶったん
BUTTAN



「やりたい」が見つかる！ ボランティアフェスティバル



ボランティア学生を募集している学外団体をお招きし、ブースに分かれて直接みなさんに活動内容をご紹介いただくイベントを年に一度開催しています！

今年度は**15団体**にご協力いただきました！
実際にボランティアを見つけて参加に至った方も！



学内掲示・インスタグラム
などの広告活動



授業前宣伝



パンフレットの設置

授業前宣伝や立て看板の設置、インスタグラム等での広告活動により
前年より多くの学生に周知でき、**60人以上**の学生に足を運んでいただきました。



参加団体ピックアップ



社会福祉法人京都ライトハウス



紫野キャンパスから
徒歩2分！👉

視覚などに障害のあるすべての人が、個人として尊重され、その人らしい自立した生活を営むことができるように積極的に取り組まれています！

NPO法人ピープルアクティブライフ



大自然と触れ合いながら
子どもと遊ぶ！

自然体験活動を通して、子どもたちの「たくましく生きる力」を育てている団体。日帰り活動や、長期休みには宿泊キャンプなどを実践しています。

一般社団法人京都障害者スポーツ振興会



「スポーツのつどい」を
定期開催されています！

スポーツを通じて障害のある方々の健康増進と豊かな生活の実現を図ることにより、京都における社会福祉の進展に寄与することを目的とされています。

それぞれの団体が独自の特色を活かしながら、
ともに成長し、**笑顔であふれる活動**を展開しています！
2025年度もボラフェス開催予定！ご参加お待ちしております！！

byボランティア室メンバー一同

洛和会ヘルスケアシステム キャンパスツアー



洛和会ヘルスケアシステム
公式キャラクター「らくの助」▶

ホームライフ北野白梅町と
グループホーム壬生の皆さんを
紫野キャンパスに招待し、
キャンパスツアーを行いました！
ミニ講義や食堂でのランチなどの
体験をとおして、学生気分を
味わっていただきました！



▲佛科大学マスコットキャラクター
「ぶったん」



社会福祉学部 新井康友教授による
ミニ講義「元気に暮らしつづけるために」



鹿溪館1階の
「&カフェ」でランチ



礼拝堂（水谷幸正記念館）
で腕輪念珠づくりを行い、
完成した念珠は利用者さん
にプレゼントしました。



図書館巡り

普段は入ることのできない
成徳常照館（図書館）の5階で京都
の景色を紹介しました。





2020年度から続く

宇多野病院の患者さんとの交流

独立行政法人国立病院機構 宇多野病院

ボランティア室に
行ってみよう！
学生スタッフ紹介

3つの団体

- ・学生ボランティア室
- ・よさこいサークル紫踊屋
- ・チアリーダー部 FINDS

それぞれが発表動画を用意し、患者さんにみていただきました！

①芸術祭



ボランティア
フエスティバル

ボラ室
活動報告

学生ボランティア記録

ボランティア
参加者の声



②Zoom交流会



発声ができない患者さんも、PCを使ってたくさん質問していただきました！

今年度は宇多野病院で行われた芸術祭への参加や、Zoomを活用して患者さんとオンラインで会話を楽しむ交流会を実施しました。

芸術祭では、私たちがコラボポスターを作成する様子や、課外活動団体の発表を動画にまとめ、提供しました。当日はオンラインで参加し、患者さんから直接感想をいただきました。

オンライン交流会では「学校生活」「電車」など身近なテーマを主題として、会話を楽しみました。発声が難しい患者さんもいらっしゃいましたが看護師の方々が思いを丁寧に代弁してくださり、心の通った交流を実現することができました！

「令和6年能登半島地震」 支援フリーマーケット



「令和6年能登半島地震」発災から1年である2025年1月、被災地復興の現状に今一度目を向けるため、学生や教職員から提供いただいた物品を販売するフリーマーケットを開催。提供品は300点以上も集まり、多くの方にご協力いただきました。募金箱も設置し、フリーマーケットの売り上げとあわせて全額義援金として日本赤十字社 京都府支部に寄付し、被災地支援に役立てていただきます。



ご報告

売上金：26,300円
募金箱：33,012円
合計：59,312円

皆様の温かいご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

「令和6年能登半島地震」被災地でのボランティア活動

佛光大学は、2024年6月に石川県珠洲市にて食料配布と工作教室の被災地ボランティアを実施。ボラ室スタッフも数名参加し、「息の長い支援が必要」と感じたことをボラ室全体に共有し、原動力としました。



学外ボランティア記録 ×

ビーチクリーン



京丹後市網野町の八丁浜で、地元の方からいかに海洋ごみが生態系の悪影響になっているか等の説明を受けながら清掃活動に取り組みました。

祇園祭ごみゼロ大作戦



活動を通じて、伝統行事と環境保護に貢献できました。多くの来場者の方々の協力を得られ、環境に優しいお祭りの実現に向けて、有意義な時間を過ごせました！

清掃活動



千本通りのイチョウ清掃にも取り組んでいます。自転車で通る方も多いため、入念に掃除しています。スタッフ同士の交流の機会にもなっており毎年楽しみにしている活動のひとつです。

京都マラソン



京都マラソンでのボランティア活動にも恒例行事として取り組んでいます。メンバーで声を掛け合って参加することで団体申し込みができるのもボラ室の魅力のひとつです。

ボランティア室に行ってみよう！

学生スタッフ紹介

ボランティア部 フェスティバル

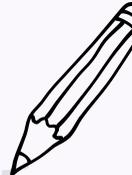
ボラ室 活動報告

学外ボランティア記録

ボランティア参加者の声



3大学交流会



京都産業大学・龍谷大学・佛教大学のボランティア室の 学生スタッフによる交流会が、龍谷大学深草キャンパスで開催されました!

当日は3大学混合のグループに分かれ、アイスブレイクゲームで互いの緊張を解き、和やかな雰囲気の中で交流を始め、その後、各大学の特色あるボランティア活動について紹介し合い、互いの取り組みへの理解を深めました。

後半では、ボランティアコーディネートについてのワークショップを実施。実際の相談事例をもとに、学生とボランティア活動のマッチング方法について意見を交換し、実践的な演習に取り組みました。

参加者からは「他大学との交流で新しい視点を得られた」などの声が上がリ、充実した学びの機会となりました。



君も
私たちと一緒に
ボランティアしよう！

Real Voice



～ボランティア参加者の声～

4つの気づき

3年生スタッフU

私が子ども食堂や障害者スポーツなど様々なボランティアを体験して気づいたことが、4つあります。①ボランティアの参加自体はとても簡単であるということ。②周囲の人を頼ればいいということ。③ボランティアを通して関わる自分と異なる立場の方々も、自分と同じ様々な悩みを抱える人間であると理解すること。④まずは自分自身がその活動を楽しむことが大事であること。決して、最初から周りとうまくコミュニケーションをとらなくてもいいし、**同じ活動を継続すること自体が最重要だとは思いません。**だからこそ、ボランティア活動に参加するか迷っている人がいるのであれば、ぜひ一度参加してみてください！

ボランティアで得た視点

2年生スタッフK

数々のボランティアに参加しましたが、今胸を張って言えることは、「対価がないからこそ多くの人の手助けをすることができました！」ということです。利益を求めることが意識される現代社会で、**人の役に立つことの本質を学べた**と感じます。また、ボラ室に入ったことで同学年・先輩方との交流もでき、有意義な時間を過ごすことができています。それらをとおして『様々なことを多角的に考える』ことができるようになったとも思います！

ボランティア室に入ってよかったこと

卒業生H

ボラ室では高齢の方や子どもとの関わりや環境など幅広い分野のボランティアがあり、多くの学びと経験を得る事ができました。また、自分たちで自由に企画できる場所だったので、自分のやりたい事ができて良かったです。活動の中で、**いろんなボランティア団体との繋がりが**できて、就活にも役に立ったので、是非皆さんもたくさんの繋がりを作って貰えたらいいなと思います。

誰かと協力することから生まれる喜び

4年生スタッフS

私がボランティアで最も大切だと感じたのは、人との協力関係です。一人では限られたことしかできませんが、仲間と協働することでよりも多くの経験をすることができました。特に災害支援では、互いに声を掛け合い、笑顔で活動することが参加者や地元の方との距離を縮めることができた気がします。ボランティアの本質は単なる奉仕ではなく、**人と人とが楽しく協力し合うことで生まれる喜びと達成感にある**と学びました。

ボランティア室に
行ってみよう！

学生スタッフ紹介

フェスティバル
ボランティアハル

ボラ室
活動報告

学外ボランティア記録

ボランティア
参加者の声

学生ボランティア室 道案内



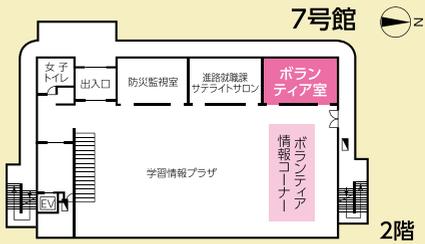
7号館2階奥で
待ってます〜！
遊びに来てね！！



動画でも
みれるよ

**社会連携センター
 学生ボランティア室**
 紫野キャンパス7号館2階(学習情報プラザ内)

開室時間 9:00~16:30
 13:00~14:00は閉室 ※土・日・祝は閉室



マイトゥリーへのご意見・ご感想をお寄せください。*マイトゥリーは年1回作成・発刊しています

発刊日 2025年4月1日
 編集・発行 佛敎大学社会連携センター
 学生ボランティア室
 〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96
 T E L:075(491)2141 (代表)
 E-mail: buvcc@bukkyo-u.ac.jp
 Instagram: @buvcc1

編集後記

Maitri の制作にはじめて携わり、分からないことが多くて結構苦戦しましたが、楽しく作れたので、すごくいい経験になりました！

(重森)

デザインや配置に悩みましたが編集はとても楽しかったです！これを見てボラ室の魅力が少しでも伝われば嬉しいです！

(上田)

